

学校図書館支援センター通信 NO.49

11月号

平成23年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）



読書の秋

本の森へ出かけよう！

10～11月にかけて、学校では読書に関するたくさんの行事が催されています。その目的は学校によって様々ですが、「読書の楽しさや図書館の有効な活用方法を知り、本や読書に親しむきっかけを作る。」ということが重要だと思います。これらの行事をきっかけにして、子どもたちの読書活動が継続的なものになるように、計画的・継続的な取り組みを心がけてください。

また、子どもたちに「幅広いジャンルの本に目を向けさせる。」という事も必要です。学校図書館を活用した授業が、多くの教科で盛んに行われていますが「なぜ図書館を使うのか。どのように活用するのか。」を念頭に置いて、図書の有効な活用方法を考え、授業に合った選書を行いながら学習を進めて頂きたいと思っています。

子どもたちが『本の持つ力』を『自分の力』にできるような環境づくりをお願いします。



作家講演会&読書まつり



読書週間を迎え、各学校では様々な行事が行われています。今回は、富貴島小学校の「秋の読書まつり」をご紹介します。富貴島小では今年創立60周年を迎え『出発だ本の世界へさあ行こう』をテーマに、“あまんきみこさん”を招いた作家講演会やクラス発表会が実施されました。作家講演会では、あまんさんの本の感想やお話の絵が壁いっぱい飾られた素敵な体育館で、あまんさんご自身による読み聞かせ（おきたのぼうし 他）が行われました。「おかあさんに読んでもらっていると思って聞いてね。」と優しい声で語り始めた絵本の世界に、子どもも大人も引き込まれてしまいました。

「こんな風に読んでね、と言えないのが本なの。本を読んで色々思うことが大事。その思いをずっと覚えていて何年か経って自分が変わる（成長する）と、読み方も変わるの。」とおっしゃったあまんさんの言葉に、本の持つ力と読むことによって成長していくことの大切さを学びました。

クラス発表会では、学年ごとにテーマを決めて教室や廊下を舞台のように飾り、趣向を凝らした発表を行っていました。学校全体がまるで劇場のようでした。3年3組では「みんなの知らないふしぎな市川昔話」を発表していました。真剣に演じる子どもたちや、一生懸命に耳を傾ける子どもたちの姿に本から学ぶことの楽しさと、それを自分の力にして更に人に伝えていく過程の重要さを感じました。



次回は、「福栄小学校 秋の読書月間」の取り組みをご紹介します。



続・路子の部屋

学校図書館で調べて、考えて、発信する力をつけよう！
～情報活用の基礎スキルはどの教科にも役立つ～

小林支援スタッフから
学校図書館活用についての
アドバイスを連載します。

昨年度に引き続き「調べる学習」のスキルについて、書かせていただくことになりました。「調べる学習」では、まず何より「テーマ設定」が重要であることを述べました。

今年度はその続編として、特に「調べて、考えて、まとめる力」をつけるための基礎スキルについてお話ししていきたいと思っています。以下のような内容を予定しています。

- 1 「情報カード」を使おう・引用させよう
- 2 プレゼン用カードはどの子も使える簡単なツール
- 3 プレゼン用カードから新聞作りへ
- 4 プレゼン用カードから作文指導へ
- 5 プレゼン用カードからICT活用へ

今回は「情報カード」について復習をします。「情報カード」は、小学校低学年の教科書にも載っています。実は、図書館活用の基礎スキルとして専門書にも載っています。調べたことはノートではなく、「情報カード」に書きましょう。

「情報カード」「利用資料リスト」の活用ポイント（昨年度の記事より）

- ・調べた内容は、「情報カード」を使って、一枚のカードに一項目ずつ書く。
- ・「情報カード」には、本文を写すようにし、「引用」の概念を育てる。
- ・「情報カード」は1人で何枚使っても良い。
- ・「利用資料リスト」を別に作成し、利用した図書を一覧できるようにする。書名、著者名、出版社、NDC、ページ等を記入する。複数の図書の利用を促しやすい。

学校図書館に「情報カード」を常備しませんか。図書館部会で検討し、先生方に相談して、学校独自のものを作成すれば使いやすいですね。小学校では、低学年用・高学年用として分けたり、中学校では、縦書き・横書き・サイズをいろいろ作ったりするなど工夫してみませんか。



図書館の窓から

～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～

10月6日(木)行徳のI&Iホールで「潮香祭」が行われました。午前中は合唱祭、午後は文化祭です。図書委員会は文化祭に参加して、「外郎売」の口上を発表しました。6分以上の長セリフを図書委員全員で分担して挑戦し、最後まで朗読しました。クラスや学年の出し物、合唱の練習の合間をぬっての短い練習でしたが、一つの成果を出せたと思います。今、図書館では、一年生が国語の調べ学習の真っ最中です。11月には、『塩浜小学校に読み聞かせに行こう』という計画があります。1・2年の図書委員と有志で小学校の朝自習の時間にお邪魔できれば、と考えています。

(塩浜中学校 学校司書 秋本 三幸)



お知らせ

【学校図書館支援スタッフ紹介】

今年度も10月より2名の支援スタッフが学校図書館運営をサポートします。図書館に関するご相談に何でも応じます。(問合せ：教育センター)

- 小林 路子 (慶応義塾大学非常勤講師)
- 村上 祐久子 (元妙典中学校学校図書館員)

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

